

日本の医療は予防医療にシフトすべき ～病院併設型人間ドック健診が病院を、日本の医療を救う～

日本の医療費は2010年から2020年の10年間で37兆円から43兆円に増加し、同期間の薬剤の輸入超過額は0.7兆円から4.4兆円に増大、高額な外資系製薬会社製の薬剤の使用が増え、医療費の増加分の62%を占めています。高額薬剤を使用しないためには、人間ドック健診による癌の早期発見・治療、さらには成人病(生活習慣病)を予防し、認知症発症の抑制が重要です。病院併設型人間ドック健診は、設備が小さく収益性を高くすることで病院の経営に大きく貢献します。予防医療について、宮地 正彦 先生にご講演いただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

講師

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター
企業長兼院長

宮地 正彦 先生

開催日時

2026年2月13日(金) 14時00分開始〈1時間半程度〉

参加費

無 料

定 員

50 施設

開催方法

Zoomを利用



宮地 正彦 先生

ご 略 歴

- | | |
|--|--|
| 1980年 名古屋大学医学部医学科卒業、
大垣市民病院臨床研修医 | 1992年 名古屋大学医学部助手
(外科学第一講座) |
| 1981年 大垣市民病院医員(外科) | 1997年 名古屋大学医学部講師
(外科学第一講座) |
| 1985年 岡崎国立研究機構生理学研究所
特別協力研究員 | 1997年 愛知医科大学医学部講師
(外科学第二講座) |
| 1987年 名古屋通信病院(現AOI名古屋病院)
医員(外科)、 | 2001年 愛知医科大学医学部講師助教授
(外科学講座) |
| 1988年 名古屋大学医学部医員(外科学第一講座) | 2009年 愛知医科大学医学部特任教授
(外科学講座) |
| 1989年 米国留学 Johns Hopkins 大学
Research Fellow | 2017年 掛川市・袋井市病院企業団立
中東遠総合医療センター企業長兼院長 |
| 1991年 国家公務員等共済組合連合会
東海病院医員(外科) | |

申込方法

申込書はホームページ <https://www.jichikyo.co.jp> からダウンロードできます。

- ✉ メール：講師名及び、①から⑦までをご記入の上、t-support@jichikyo.co.jp に送信をお願いします。
- 📠 FAX：下記申込書にご記入の上、送信をお願いします。

自治共Webセミナー

FAX 03-3265-5868

申込日

年

月

日

① 病院名	
② 部 署	
③ 役 職	
④ フリガナ	
⑤ 参加者 氏名	
⑥ 連絡先	TEL:
⑦ E-mail	※ご記入いただいたメールアドレス宛に招待メールを送付いたします。

受講までの流れ

メール・FAXで申し込み

受付確認のメールを受信

セミナー招待メールを受信

セミナー参加

※個人情報保護法に準拠して、
取扱いいたします。※申し込みいただく個人情報は、
セミナーに関するご案内のほか、
当社サービスに利用する場
合がございます。※セミナーご参加には、インター
ネットへの接続と音声出力が
可能なパソコンが必要です。

お問い合わせ先

株式会社 自治体病院共済会 トータルサポート推進室 担当：中園・堀口
TEL: 03-3263-3397 E-mail: t-support@jichikyo.co.jp